

その先を目指して！



第46回全国高等学校総合文化祭東京大会（とうきょう 2022） 長崎県代表選抜出品作品 『変容』

「自分を描くことで少しだけ自分に自信ができました。」
コメントに見られるように、不安を抱えながらも、少しずつ前を向いて進みたいという作者の強い意図が感じられる作品です。昨年の県高校美術展で入賞し、今年東京で開催される全国大会に県代表として選抜出品されることになりました。

ここに注目!

新成人に聞く ふるさとへの想い

今月の
はさみの人

かわさき ほなみ
川崎 穂波さん
波佐見高校 美術・工芸科 2年



はさみ 

No.157 令和4年2月号

議会だより

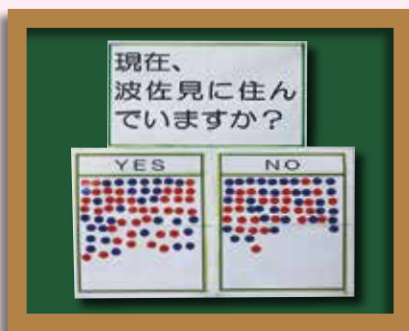
波佐見町成人式

令和4年1月3日、総合文化会館で成人式が執り行われ、新成人196人のうち、138人が出席されました。

議会広報調査特別委員会では、新成人に対し波佐見町についてのアンケートを行い、128人に回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果

※回答シールの色は男女別とは関係ありません。



Q1 現在、波佐見に住んでいますか?

A YES 69人 NO 59人

NOについて詳しく聞いてみました

Q どちらにお住まいですか?

A 東京・大阪・愛知・福岡・大分・北海道 etc

Q2 将来、波佐見に住みたいですか?

A YES 60人 NO 68人

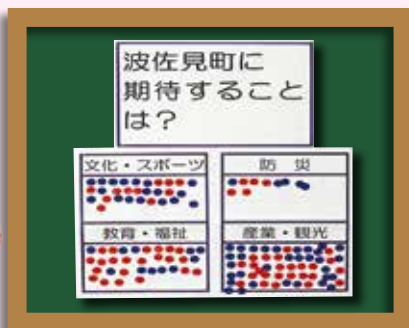
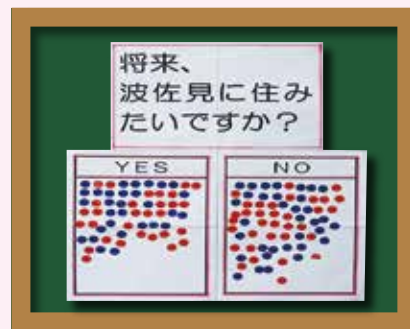
NOについて詳しく聞いてみました

Q 住みたくない理由は?

A ・目標の仕事に就けない。 ・都会でいろいろ学びたい。
・生活に不便である。 ・仕事の都合上。 etc

Q 現在の仕事または将来就きたい仕事は?

A 医師・教師・保育士・自衛官・理学療法士・
自動車整備士・役所関係・IT関係・スポーツ関係・飲食店関係 etc



Q3 波佐見町に期待することは?

A ・文化・スポーツ 29人 ・防災 10人
・教育・福祉 33人 ・産業・観光 56人

議会として一番関心があった質問です。新成人は町の「産業・観光」に対する期待が大きいようです。

次に「教育・福祉」に期待する数が多く、「文化・スポーツ」の振興に対する期待も感じとれました。

「防災」へ期待する数は少なく、その要因として、町内で過ごした間に大きな災害を経験しなかったことあるのではないかと分析しました。

アンケート結果を受け、さらなる魅力あるまちづくりに向けての決意を新たにしました。



令和3年 第3回(10月)波佐見町議会臨時会

令和3年度 一般会計補正予算(第7号)



補正額 5100万円の追加 補正後の予算総額 92億1100万円

歳入

県事業継続支援給付金 550万円
地方創生臨時交付金(事業者支援追加分) 2083万7千円
ふるさとづくり応援基金繰入金 2466万3千円

歳出

波佐見町事業継続支援給付金(事務費含む) 5100万円
※8・9月の売上が、2019年又は2020年同月比で20%以上減収となった事業者(飲食店除く)へ支援
上限10万円/月×2月×250店舗

中央小学校学校施設長寿命化改修工事(2工区)請負契約の変更



変更前工事請負額 9622万8千円 変更後工事請負額 1億553万2900円

増額 930万4900円

- ①ランチルーム屋根防水改修 ②校舎屋根瓦補修
- ③最上部「とい廻り」防水改修 ④渡り廊下屋根防水改修
- ⑤外壁補修工事の追加



令和3年 第4回(11月)波佐見町議会臨時会

令和3年度 一般会計補正予算(第8号)



補正額 2000万円の追加 補正後の予算総額 92億3100万円

歳入

ふるさとづくり応援基金繰入金 2000万円

歳出

公有財産購入費(土地・建物) 1934万円
公有財産改修工事 66万円
(波佐見高校の寮として活用)

※本議案へは8名が討論を行いました。討論の内容は次ページをご覧ください。

財産の取得



財産の種類： 学校給食センターで使用するコンテナ・食缶

取得価格： 860万900円(税込)

数量： コンテナ 17台・中蓋付二重保温食缶 49台・高性能保温食缶 49台

※20年ぶりの交換

補正予算(第8号)に対する討論

反対

三石 孝 議員

今回の高校支援の在り方は、前回同様、無計画である。

自治会からの要望は先延ばししておいて、簡単に2000万近くの予算化を計上している。支援策の骨格を町民に示すべき。予算化までのプロセスが問題だ。

町民からの負託を受けた議員は、よく考え判断してほしい。



反対

田添 有喜 議員

限られた予算の運用に疑問がある。支援額が10年間で1億円支援すると公表されたが、いつの間にか10年間で総額2億。公表に透明性がない。

また、補正で野球部の寮として2000万円の財産取得。波佐見高校の存続支援は必要と思うが、ふるさと応援基金は、大雨で災害が発生している中、町民の安全安心なまちづくりに運用すべきである。特に河川整備に積極的に取り組むべき。

賛成

城後 光 議員

寮運営を前提とした物件取得には、もう少し考慮が必要だと感じる点もあるが、波佐見高校がおかれている状況は急を要している。町の高校への支援策については、今後具体的に示す意向との答弁を踏まえ、提案には賛成する。

賛成

脇坂 正孝 議員

波佐見高校は50年以上前に町民の熱い要望で創立された。しかし、現在生徒数は一時期に比べ大幅に減少している。美術工芸や野球など特色ある教育活動を実践するには、ある程度の生徒数が必要である。

野球部は、輝かしい歴史と実績を誇ってきた。その野球部を維持し、発展していくためには生徒数の確保が必要。

賛成

北村 清美 議員

川棚高校波佐見分校を町及び町民の要望で波佐見高校になった。我々が実現を要望してできた高校を廃校にすることはできない。

賛成

尾上 和孝 議員

近々、2つの寮がなくなると聞く。その受皿ということで必要と思う。

賛成

横山 聖代 議員

計画の立て方には2通りあると考える。本来なら、方針やビジョンがあって計画を作り予算計上となるが、急を要する場合は布石を打ち計画を立てる。

今後、波佐見高校存続に対する計画が示される事を期待する。

賛成

福田 勝也 議員

波佐見高校野球部の活躍は、町民皆さんに夢と希望、元気を与えてくれる。

これからも強化のためには、寮の整備は不可欠である。

令和3年 第4回(12月)波佐見町議会定例会

令和3年度 一般会計補正予算(第9号)



補正額 **13億6100万円の追加** 補正後の予算総額 105億9200万円

歳入

(主なもの)



子育て世帯への臨時特別給付金(国)	1億2700万円
新型コロナウイルス感染症予防接種費(国)	1093万4千円
農林災害復旧事業費(県)	9億5330万円
公共土木施設災害復旧事業費(国)	9378万円
農林災害復旧事業債	9360万円
公共土木施設災害復旧事業債	4680万円

歳出

(主なもの)

子育て世帯への臨時特別給付事業(事業費含む) (現金5万円 × 2500名分)	1億2700万円
※ 追加給付(現金5万円 × 2500名 = 1億2500万円)分は専決処分。	
新型コロナウイルス感染症予防接種事業	1049万9千円
農林業施設災害復旧費	10億3409万2千円
公共土木施設災害復旧費	1億4068万5千円

令和3年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)



補正額 **2200万円の追加** 補正後の予算総額 16億3200万円

歳入：前年度繰越金	2386万7千円	・繰入金	289万1千円	減	等
歳出：償還金	367万5千円	・予備費	1796万7千円		等

令和3年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)



補正額 **100万円の追加** 補正後の予算総額 1億8000万円

歳入：前年度繰越金	51万2千円	・委託料等	44万7千円	等
歳出：健康診査委託料	42万3千円	・予備費	51万2千円	等

令和3年度 介護保険事業特別会計補正予算(第2号)



補正額 **367万円の追加** 補正後の予算総額 14億5800万円

歳入：国庫補助金	365万8千円	・繰入金	1万2千円
歳出：予備費	365万8千円		等

令和3年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)



補正額 **130万円の追加** 補正後の予算総額 3億6240万円

歳入：繰入金	130万円
歳出：光熱水費	73万2千円 等

令和3年度 上水道事業会計補正予算(第2号)



収益的支出の補正(132万4千円の増額)

修繕費	81万円	・動力費	30万円	・総務費	21万4千円
-----	------	------	------	------	--------

「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」提出 についての請願



東彼民主商工会から令和3年8月17日付で請願が提出された。本事件については、総務文教委員会に付託され、令和3年10月21日に審査を行った。

審査の結果、この制度は納税の流れを明確に打ち出したもので、請願の趣旨は理解できるが中止や見直しを求めることはできないという意見が多数で、本請願に対して全会一致で不採択と決定した。



三石 孝 議員

インボイス制度は、これまで業者の帳簿で算出していた消費税の納税額を、税務署が発行する適格請求書での算出に変更するもの。

免税業者が取引から排除される可能性もあり、大変な混乱等が想定される。

800以上の事業所を抱える本町の議会として、何らかの意思表示を行うべきである。



横山 聖代 議員

免税事業者が課税事業者になることを選択したとしても、零細企業においても労力の増加や益税分の利益低下が予想され、廃業を余儀なくされる可能性がある。

本町の実情を考えると、意見書提出はやぶさかではない。

町道路線の認定



下記6路線について、開発団地内に位置する道路であり、地域内の生活道路として利用されるなど公共性が高いことから、認定の提案がされたもの。本議案は、令和3年12月8日に産業厚生委員会に付託され、12月13日に現地調査を行った。

当該路線について、その公共性の高さや必要性を考慮し、新たな町道として認定した。

- | | | | |
|----------|---------|----------|---------|
| ・町道堀切1号線 | 延長 294m | ・町道堀切2号線 | 延長 48m |
| ・町道堀切3号線 | 延長 91m | ・町道堀切4号線 | 延長 251m |
| ・町道第二深添線 | 延長 84m | ・町道第三深添線 | 延長 40m |



町道鹿山飛瀬線に接する住宅団地内の道路



町道深添線に接する住宅団地内の道路

財産の取得



県立波佐見高等学校の寮として活用するため土地及び建物を取得するものである。

審議の結果、波佐見高等学校存続支援の一環として、土地及び建物の財産取得に対して賛成多数で可決された。

- | | | |
|---|---------|--------------------------------|
| 1 | 所在地 | 波佐見町長野郷字面丁原512番地2 |
| 2 | 数量 | 土地 1筆 251.58㎡
建物 1棟 133.31㎡ |
| 3 | 取得価格 | 19,350,000円 |
| 4 | 財産取得の相手 | 東彼不動産 |



三石 孝 議員

町長の波佐見高校支援策は、ドタバタ感が否めない。
県立の高校に対して、町がどういう立場で、どのような内容を、どれくらいの期間実施するのかの基本的支援内容が示されていない。
関係する各機関と協議会を立ち上げて支援の骨格を固めてからでも遅くない。



城後 光 議員

町長を筆頭に、町が主体的に波佐見高校支援に動き出したことで、新たに地域の方が寮運営を行おうとする動きも出ている。寮運営に留まらず、高校から近いこともあり、様々な拠点としての活用が考えられる。物件取得は必要と考える。



岡村真由美 議員

町の財産となれば、NPO だけでなく地域おこし協力隊の活動拠点にもできる。波佐見高校の寮としても使われるということなので、決定すれば志願者増により効果的だと考える。みんなでフル活用していきたい。



北村 清美 議員

11月に議決されたので、取得は当然。財産だから減ることはない。高校、県にも波佐見町の決意をみせるべきだ。

波佐見町長等政治倫理条例



町長、副町長、教育長の職務に係る倫理の保持に資するため、必要な措置を講じ職務執行の公正さに対する町民の疑惑や不信を招くような行為を防止し、公務への町民の信頼を確保するために制定された。

その内容は1条の目的や2条の町長等の責務、6条の町民の調査請求権など12条の委任までの条文で成り立っている。

政治倫理基準は、政治倫理に関して町長等に対して一定の基準を禁止し、その順守を求めるものだが、一般的には不正疑惑行為の禁止、契約にあたっての特定企業等への有利な取り扱いの禁止、地位利用による金品の禁止などがある。

本条例は、令和3年12月20日に公布された。

総務文教委員会

総務文教委員会は、12月21日、教育長を含む5名の教育委員と意見交換会を行った。

協議内容

- ①教育委員会事務局の新庁舎への移転
- ②児童・生徒の学力向上対策
など（計7項目）

【主な質疑】

①について

問：移転した場合の教育相談の実施場所は。

回答：新庁舎と現事務局の両方を考えている。

問：施設管理運営業務を外部委託したかたちで事務局を移転して良いのか。

回答：不安はあるが、移転は実施したい。

②について

問：学力向上対策は。

回答：すべての児童生徒があと5点、10点加点できるよう学力保障に努めたい。



産業厚生委員会

産業厚生委員会は、12月21日、民生委員・児童委員協議会との意見交換会を行った。

テーマ「活動の内容と課題」

民生委員の身分は、厚生労働大臣から委嘱を受けた地方公務員特別職で、任期は一期3年である。

【主な質疑】

問：成り手不足と聞かす。

回答：本町の協議会は39名で、70歳以上が約4割。今後は60歳代前半からの登用を希望したい。

問：苦勞されていることは。

回答：相談がないと動けない。面会が業務の基本で、状況を行政等に『つ

なく』ことである。コロナ禍で活動できなかった。

【まとめ】

民生委員制度は、103年目になる。戦中戦後の混乱期から現在に至るまで、人々の身近な相談者として活動されている。その活動には頭が下がる。



議会活動へタブレットを導入
ペーパーレス化の取組を今年からスタート。

タブレット端末を議員・執行部それぞれに導入することにより、会議でのペーパー使用を段階的に減らし、将来的には完全にペーパーレスにて議会活動を行うことを目指す。議員活動はもとより、行政活動全般のデジタル化が進む契機として期待している。

国・県・そして町においても、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を進めて、より効率的で、多様化する町民ニーズにあった取り組みを進めていくことが求められている。

議会としても、調査研究を行い、行政と一体となり、新しい仕組みに取り組んでいく。

3月議会より
導入試行される
Apple社 iPad Pro



賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

		議席No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	会議の結果
		議員名	澤田 昭則	岡村真由美	田添 有喜	岡村 達馬	福田 勝也	城後 光	横山 聖代	三石 孝	北村 清美	脇坂 正孝	藤川 法男	今井 泰照	尾上 和孝	
10月臨時議会	補正予算	・令和3年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	・中央小学校学校施設長寿命化改修工事（2工区）請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11月臨時議会	補正予算	・令和3年度一般会計補正予算（第8号）	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
	財産取得	・財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12月定例会	補正予算	・令和3年度一般会計補正予算（第9号） ・令和3年度特別会計補正予算 国民健康保険（第1号）、後期高齢（第1号）、 介護保険（第2号）、公共下水道（第2号） ・令和3年度上水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例	・波佐見町長等政治倫理条例 ・波佐見町附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例 ・特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 ・波佐見町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	財産取得	・財産の取得について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	その他	・波佐見町道路線の認定について（6件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願	・「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」提出について	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	不採択

12月
定例会

11人が登壇 一般質問

12月定例会会議録は、2月下旬ごろ
町ホームページに掲載します。

<https://www.town.hasami.lg.jp>

QRコードを読み取ると各議員の動画が見られます。

※は掲載項目です



岡村 達馬 議員



は問もなく終了する。

町長 建設課関係の査定は
終了し、農林課関係

るか。

議員 災害復旧に向けた業
務は円滑に進んでい

8月豪雨により町内各地
に多くの被害が発生した。

超えて
いる。



土石流の被災地

町長 補助申請額に対する
査定率ほどの位か。
公共土木、農林災害
とも査定率が96%を

よる観光等への変化は。

議員 高速バス増便や高速
バス休日割引再開に

る。

町長 高速バス増便や高速
バス休日割引再開に

議員 来春の「陶器まつり」
への対策は。

政、窯業界一体となつて
行っていきたい。

町長 波佐見焼のブランド
化や販売拡大など行

議員 データによるとここ
30年で大幅な事業所
減や出荷額の落ち込みが見
られるがどうか。

ページ	議員名	質問項目
10 ・ 11	岡村 達馬	※・8月豪雨災害復旧への取り組み ※・イベント、観光及び今後の窯業等の見通し
	福田 勝也	※・観光事業 ※・教育行政
12 ・ 13	横山 聖代	※・ヤングケアラー ※・子ども家庭総合支援拠点
	城後 光	※・高齢者参加のまちづくり ※・マイナンバーカード普及促進
	田添 有喜	※・教育委員会の新庁舎への移転 ※・道路環境の整備と改善
14 ・ 15	北村 清美	※・住環境整備 ・町財政
	脇坂 正孝	※・鴻ノ巣公園及びその周辺の整備 ※・8月豪雨の災害
16 ・ 17	今井 泰照	※・I R (統合型リゾート施設) 誘致 ※・地場産業 ・教育問題
	岡村真由美	※・町におけるテレビ放送の活用 ※・町の墓地事情 ※・波佐見高校存続のための支援策
	澤田 昭則	※・新型コロナウイルス感染症対策事業 ※・ふるさとづくり応援基金活用事業
	三石 孝	※・高齢者福祉事業 ・子育て支援の取り組み ・波佐見高校への支援の在り方



福田 勝也 議員

観光拠点の案内と整備を

町長

ワクワクする仕掛けを考える



議員

西の原、やきもの公園、歴史文化交流館

芸の館を訪れる観光客と比較すると7%の増加と微増にとどまり、町全体でも変わらない状況と推測する。

町長

どうか。

議員

2年度の観光客の実績と3年度の状況は

新型コロナウイルスが発生し、外出自粛など感染防止対策が取られ、本町の観光事業にも大きな影響が出ている。

新型コロナが発生し、外

出自粛など感染防止対策が

取られ、本町の観光事業に

も大きな影響が出ている。



西の原とやきもの公園間の歩道

町長

にわたる周遊ルートの案内と整備計画は。

「まち歩きエリア」として有効に活用したい。お客様が楽しく周遊し、いろいろな「波佐見」を発見できるような、ワクワク感がある仕掛けを考えていきたい。

を

を

議員

激甚災害に指定されたが、所管別の有利な措置は。

町長

過去5年間の実績平均で、補助率が、公共土木災害は66・7%から82%へ、農地復旧事業は75%から96・4%へなど、かさ上げされている。

町長

急いで着工したい

この秋「陶器まつり」などのイベントが数多く開催された。

議員

成果と課題は。

町長

期間中4万5000人の人出でにぎわった。課題は、PRなどの工夫や認知と定着である。

町長

プラスに作用していると思っっている。



インター街道陶器まつり

教育現場では、学力向上対策など様々な課題がある。

議員

「総合教育会議」が開催されている。本町の教育方針と課題は何か。

教育長

教育方針は、学校・社会教育の充実、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進、地域文化・芸術の継承と創造などがある。

課題として、学校施設の改修計画、学力向上対策、ICT教育、ふるさと教育の推進について協議し、学

つばやき

8月豪雨は町内に多くの災害を生させた。

日常生活に不便を強いられている所から災害復旧工事をお願いしたい。



校と地域の関わりやいじめ対策の状況などについて意見交換を行った。

つばやき

「元気な波佐見町」のためには、地域の活性化が大切だ。

そのためにも観光事業に注力。





城後 光 議員



議員 教育活動に高齢者がどのように関わっていくことを考えているか。

2025年には65歳以上の人口が最大となると予測される。元気な高齢者の地域活動への参加が、今後のまちづくりに必要なのである。



東っ子支援隊活動の様子

他の学校でも同様の取り組みが始まっているところがある。

町長 11月25日現在、県内でも4市2町でコンビニでの証明書交付サービスが提供されている。過去

議員 カードを利用して、コンビニでの住民票の写しなど公的証明書の発行サービスを行う考えはな

かにコンビニ交付を検討したが、費用対効果を考え導入には至っていない。全国的な戸籍情報システムの改修も予定されており、導入時期については動向を見極めたい。



ヤングケアラー、本町の現状は

教育長

該当者なし



横山 聖代 議員



議員 本町の現状は。
教育長 調査の結果では該当者はいなかった。
議員 問題に対する見解は。
教育長 家庭の経済状況や保護者の養育能力などの複合的な要因が重なり、家庭における虐待も含め実態把握が重要である。

本年4月に公表された厚労省と文科省のヤングケアラー合同調査によると、中学2年生の約17人に1人、全日制高校2年生の約24人に1人がいると発表された。

ヤングケアラーの例



アルコール・薬物・キャンブル問題を抱える家族に対応している。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。

(一社)日本ケアラー連盟 HP より

子ども家庭総合支援拠点 を、令和4年度に設置するよう進められている。

通常と違う言動があったときは変化を見逃さず個別面談を行うなど、一層注意深く児童生徒に寄り添う指導が必要と考える。

議員

専門知識、ソーシャルワーク、アセスメント

児童虐待のリスクに応じて県と町の役割が分かれるが、支援拠点を設置する町が主担当となる。
議員 支援拠点の業務内容と役割は。
町長 業務内容は、①子どもとその家庭、妊産婦等の実情把握、子どもに関する相談への対応 ②要支援児童及び要保護児童、特定妊婦への支援 ③関係機関との調整 ④その他必要な支援がある。

つぶやき

児童虐待、悲しいかな遠い存在ではない。現状に対して、しっかりした支援を。これからの子ども達には、予防教育が必要。



ントの能力が必要となるが、どう図っていくか。
町長 知識は県実施の研修で習得し、実務は実際相談業務に当たりながら補っていく。



田添 有喜 議員

町道・県道の整備は

町長

地元の要望があれば



コンビニでの証明書発行を

町長

時期をみて検討する

町長

各学校の特色を生かしながら、高齢者をはじめとする地域の教育力と連携を深め、教育活動の幅を広げていきたい。例えば、東小学校では「東っ子支え隊」として、高齢者の方を中心に多くの地域の方に登録をいただいている。

教育委員会の新庁舎への移転は、町民の中には反対されている方も少なくない。

議員

各部署との連携件数は。

教育長

連携は日常的に数多くあり、特に必要なものを除いて件数の記録は取っていない。

議員

職員の利便性も必要と思うが町民の利便性を優先すべきでは。

教育長

移転によって不便や迷惑が生じないようにし、様々な課題の改善と解決のために移転を行う。

政府は4年度までにマイナンバーカードが国民に引き渡るように、様々な利便性向上策を講じている。本町でも一定の普及はされているが、現状としては町民の約半数の取得に留まっている。



新庁舎1階フロア (イメージ)

議員

安全・安心なまちづくりの一環として、道路整備はとても重要である。町道及び県道における陥没箇所の補修工事の実績は。



コンビニ交付時の手続き画面

町長

町道は年間約100件、県道は3箇所について県へ連絡している。

議員

波佐見郵便局前から宿郷濁淵間の歩道整備の着工予定は。

町長

4年度の下半期には工事着手される予定。



町道陥没箇所

議員

稗木場郷山角橋交差点の信号機撤去の予定は。

町長

3年度中に撤去される予定である。

つばやき

地元からの要望があれば、対応！

ではなく、行政が積極的に実態把握に努め、動くべき！



つばやき

町長、副町長ともにDX化が必要と主張されるわり

には、具体的な取り組みが進んでいない。行政手続きの外部委託を進めてほしい。





協坂 正孝 議員



町長

地形的に拡張は難しい。多いときは、近

議員

ふれあい広場の駐車場不足の解消対策は。

鴻ノ巣公園は、本町のスポーツ・レクリエーション施設として多くの人に親しまれ、利用されている。



ふれあい広場へ続く道
—道路幅が狭い—



鴻ノ巣グラウンドの管理棟

町長 私有地は個人財産であり、個人管理が前提。ただし、想定外の災害により発生した流入土砂は、その撤去費用の支援が必要と考えており、検討したい。



はできないか。

水洗化の状況は

町長

徐々に増加している



北村 清美 議員

議員

公共下水道の今後の計画は。

人口普及率46・7%、浄化槽設置整備事業人口普及率32・1%になっている。汚水処理人口全体は78・8%と、普及率は少しずつ増加している。

町長

汚水処理施設整備は、公共下水道事業

議員

それぞれの設置状況は。

本町は公共下水道と合併浄化槽の設置を推進しているが、現状はあまり進んでいない。



汚水管布設工事の様子

に説明を心がけている。現在、水洗化率は約91%となっている。

町長

「融資あっせん制度」などについて、丁寧に

議員

下水道の利用者に向けての対策と状況は。

町長

現在、村木地区で管路布設工事が進んでおり、あと3年ほどかかる。

議員

合併浄化槽整備事業については。

町長

2年度から、通常の補助金のほか、町単

独の上乗せや、浄化槽の入替も補助対象に加えた。また、国の一部減額を町単独で補い、普及促進を行っている。毎年30件程度の申請がある。

議員

今後の方針は。

町長

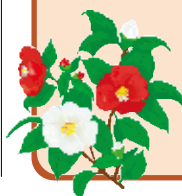
下水道事業は、接続率の向上と使用料収入での施設維持管理と老朽化する施設の更新費用の増大などが課題と考える。

つぶやき

今回の5回目の質問でやっと前に

進みそう。

スピード感を！



浄化槽事業は、アンケートなどの意向調査を行い普及促進を困難にさせている要因に対し、どのような施策が打てるか検討したい。



今井 泰照 議員

駐車場の舗装を

町長

有効な施策だと思ふ



議員 各地で開催される説明会への職員派遣や町民への広報活動に力を入れるべきではないか。

町長 I Rと聞くとカジノを連想する人が多いと思うが、カジノ区画は施



長崎県HPより

本町においても来訪者の観光や従業員の定住、波佐見焼の物品納入など経済波及効果が期待される。

佐世保で開催された説明会には、関係課の課長が参加した。

議員 やきもの公園付近のゲートボール場の駐車場を雨天時や日常的な活用のため舗装する考えはないか。

町長 舗装することにより利便性も向上し、観光誘客の受け入れや環境整備の観点からも有効と考え

I Rは、本町にとって大きなメリットがある。

つばやき

同時にギャンブル依存症対策など町民への周知も大切である。



雑草が繁茂するゲートボール場の駐車場

鴻ノ巣公園の道路等の整備は

町長

他事業と調整し検討したい

隣の駐車場を使ってほしい。

議員 ふれあい広場側への道路は狭い。拡張が必要ではないか。

町長 道路改良は他自治会からの要望も多い。他の改良工事と調整しながら検討したい。

議員 鴻ノ巣グラウンドの管理棟は、屋根や壁が相当傷んでいる。長寿命化の観点からも改修工事が必要ではないか。

町長 年末に調整し、検討して優先順位を決めたい。

8月豪雨は、本町でも大きな災害となった。

議員 災害箇所が私有地の場合、国の災害復旧工事の対象にならない。個人負担では復旧工事を断念せざるを得ないことがある。二次災害防止のため、助成

自然災害による宅地等の被害は個人財産とはいえ、二次災害防止のため、助成が必要と考える。

つばやき

放っておくと大災害につながる。





澤田 昭則 議員



議員 コロナ対策事業で経済対策や消費拡大の促進をどう考えているか。

オミクロン株による第6波に備え、医療体制整備や3回目のワクチン接種準備が始まっている。

寄附金額(千円)	割合
616,307	35%
177,952	10%
92,117	5%
583,664	33%
290,551	17%
3,363	
1,763,954	

本町のふるさとづくり応援基金活用で「波佐見らしさ」を発揮しながら持続可能なまちづくりとするため、

議員 ふるさとづくり応援寄附金条例の5つの目的と活用額は、どのような視点に立って考え実施していくのか。

本町の総合計画に掲げられた7つの基本目標に沿った事業が実施されている。

整備、安心安全まちづくり事業などで活用した。



波高支援策を見直す考えは

町長

変えるべき点は変えていきたい



岡村 真由美 議員

議員 ケーブルテレビの契約率はまだ約44%に過ぎない。未整備率の高い鬼木郷への支援は。

町長 個別受信機、H P、インスタグラム、ライン、ケーブルテレビなどもあり、年間60万円の費用対効果は望めないと考える。

議員 郡内2町はNBCのデータ放送に加入している。本町が加入しない理由は。

テレビのデータ放送は、災害時や緊急時には特に、有効な情報伝達の手段である。



人気の町民霊園

町長 整備にかかる費用の概算見積りが整えば、会社側が自治会へ具体的な説明に伺う、と聞いている段階である。

町長 整備にかかる費用の概算見積りが整えば、会社側が自治会へ具体的な説明に伺う、と聞いている段階である。

町長 直ちに見直す考えはないが、高校やN P O法人とも相談しながら、

議員 一連の支援策を見直す考えはないか。

町長 11月の波佐見高校への志願状況は依然として厳しい。

議員 湯無田郷に整備された経緯と問題点は。

つばやき

戸建て新築住宅が南地区にも数多く見られる。新たな町民霊園の整備は、定住人口の促進にも有効なのではないだろうか。

11月発表の志願状況

学科	定員	志願者	倍率	前年12月
普通	60	33	0.55	0.58
美術・工芸	20	17	0.85	0.85
商業	40	14	0.35	0.38
合計	120	64		

変えるべき点は変えていきたい。



三石 孝 議員

タクシー券の 交付対象拡大を

町長

より良い制度の
ため研究する



町長 妥当な数字と考える。さらに周知を行う。

議員 この事業は町民5031人の署名によるもので運転免許証の有無は一言も書いてないが。

令和3年5月から高齢者タクシー利用券交付事業が開始された。対象は75歳以上であるが、運転免許を有する者は受けられない。改善を要望する声が各方面から多く聞かれる。

議員 当初予算の対象者1750人に対し、申請者801人という現状をどう考えるか。

議員 運転免許を持っている人も、夕暮れや雨の日、また体調がすぐれない時などは移動手段に困る。全員に交付できないか。



配布されたタクシー利用券

町長 この制度は、日常的に外出手段を持たない人を第一義的な対象としている。

議員 利用券は使いたい時に使えばよいこと。戦後の復興に貢献された75歳以上の高齢者に功労の意

町長 あくまでも、手段を持たない高齢者支援と考えている。

議員 川棚町は、町民税の非課税者を対象に交付し、運転免許の有無は関係ない。同様にできないか。

町長 他町では「乗らない人は乗らない」など、必要ないという人が多いと聞く。また「対象者を70歳からにしてくれ」という意見もある。さらに研究したい。

追加のコロナ経済対策を

町長

施策のため状況
把握に努めたい

町長 国や県の対策の状況などを見極めながら、商工会などの関係団体とも連携し、効果的な施策が打てるようにスピード感をもって状況把握に努めたい。

令和2年度 ふるさとづくり応援寄附金の状況

目的・事業	寄附件数
ふるさとを元気に楽しくする活動	23,571
未来に伝えたい伝統文化の保存、整備	7,145
懐かしい景観、新しい町並み整備	3,726
次世代を担う子供たちの健全育成	21,593
その他町長が必要と認める	10,372
令和2年度台風9号・10号支援分	124
合計	66,531

町長 寄附者の気持ちは、「波佐見焼を中心とした元気な町であり続けてほしい」、「子どもたちのために使ってほしい」などと感じとれる。本年度においても、窯業振興や事業者支援、子育て支援、教育環境

町長は「高齢者をないがしろにしていない」という

つぶやき

が、「運転免許の有無」が「ないがしろ」政策になっていないか。



味から、分け隔てなく交付できるよう検討できないか。

町長 反省するところは反省し、良い意見を加味しながらより良い制度を作っていく。

コロナ禍の影響がまだまだ厳しい状況の中、次年度

つぶやき

の予算編成にも効果的な経済対策をお願いしたい。



傍聴者の声

12月定例会には延べ**28人**の傍聴者がありました。今回はケーブルテレビ視聴者の声も紹介します。

自宅のTVで白熱した生のやり取りが視聴でき大変嬉しい。町政に関わる機会が増えたことで、より良い波佐見町のために何らかの貢献ができればと考えている。

(野々川郷)

白熱する質疑応答を視聴することで自分もその場に参加しているように思える。モニターに映される画像がTVではよく見えない。また一般質問の開始予定時刻を画面にも表示してほしい。(平野郷)

郷全域で町議会中継を視聴できるようになりありがたい。TVのお陰で議員の皆さんをよく知ることができるようになった。放送が広がっていけば、町民が今まで以上に町行政に関心をもつようになると思う。

(野々川郷)



(TV 画像)

TV 放映のお陰で町議さんの顔と名前が一致し、どのような政策・意見を持っておられるかわかるようになり、町政に関心が高まった。女性議員が増えれば波佐見町でも違った暮らし方の風景が見られるのではないかと。(小樽郷)

インボイス制度については、議員は事業者を訪問したりして意見を聞くべきではなかったのでしょうか。

(甲長野郷)

議会広報に目を通す程度だったのが、TV 放映で議会活動が身近に感じられ、町政にもより関心を持てるようになった。議員の方々の活発な活動を楽しみにしている。(志折郷)

次回定例会は3月2日から16日までを予定しています。

編集後記

コロナ禍に入って3度目の春。終わりが見えず、不安で不自由な日々が続いています。とはいえコロナで得たものも全くないとはいえません。コロナに負けず、前向きでありたいものです。

私たちの『議会だより』の編集も2年(5回)目となりました。皆で協議し、わかりやすく親しまれる紙面づくりを、と努めていますがいかがでしょうか。これからも皆様からの厳しくも前向きなご意見を委員一同、お待ちしております。(岡村真由美)

議会広報調査特別委員会

議長	北村清美
副議長	福田勝也
委員	岡村達馬
委員	岡村有喜
委員	岡村真由美
委員	岡村昭則
委員	澤田昭則
発行責任者	百武辰美